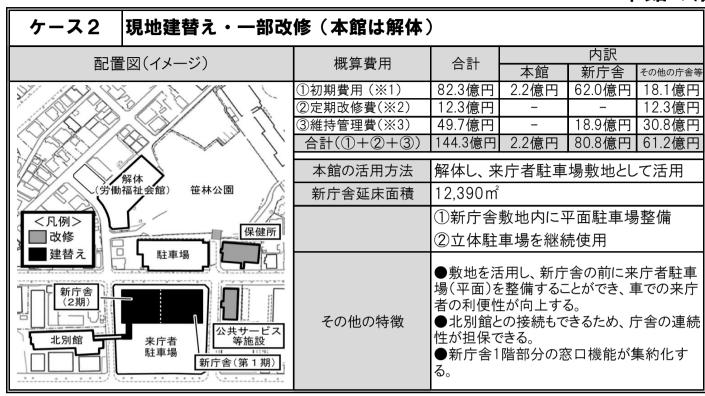
本館の活用策の検討



パターン② 本館を公共施設とし	て活用し、新庁	舎は笹林	公園に建	設			
配置図(イメージ)	概算費用	合計	内訳				
			本館	新庁舎	代替公園	その他の庁舎等	
⟨凡例⟩	①初期費用(※1)	114.8億円	17.1億円	62.0億円	11.3億円	24.5億円	
改修	②定期改修費(※2)	17.1億円	5.5億円	-	-	11.5億円	
建替え	③維持管理費(※3)	49.4億円	10.8億円	19.8億円	ı	18.8億円	
公共施設利用 公用 駐車場	合計(①+②+③)	181.3億円	33.5億円	81.7億円	11.3億円	54.8億円	
来庁者 駐車場	本館の活用方法	公共施設					
来庁者 駐車場	新庁舎延床面積	12,390 m²					
+0m	駐車場	①笹林公園内に整備					
高飯菱(階段)		②公共施設用を本館裏に整備(市負担)					
エントランスホール (EV・階段) 公共施設用 駐車場 公共サービス 等施設	その他の特徴	●代替公園の設置が必要となる。 ●新庁舎1階の床面積は広く取ることができる。 ●バリアフリー化の工事が必要。 ●新庁舎と北別館、南別館との距離が遠くなり、来庁者の利便性が低下する。 ※大牟田市公共施設維持管理計画では、原則として施設の新設は行わないこととなっている。					



パターン③ 本館をモニュメント	として保存し、ネ	新庁舎は ³	笹林公園	に建設				
配置図(イメージ)	概算費用	合計	内訳					
11. 単国(イグープ)			本館	新庁舎	代替公園	その他の庁舎等		
⟨凡例⟩	①初期費用(※1)	103.3億円	6.0億円	62.0億円	11.3億円	24.0億円		
改修	②定期改修費(※2)	11.5億円	-	_	_	11.5億円		
建替え	③維持管理費(※3)	41.2億円	2.6億円	19.8億円	_	18.8億円		
○ CH 公用 駐車場	合計(①+②+③)	156.0億円	8.6億円	81.7億円	11.3億円	54.3億円		
来庁者新庁舎	本館の活用方法	モニュメント(原則として人の出入無し)						
来庁者 駐車場	新庁舎延床面積	12,390 m²						
+ Om ************************************	駐車場	笹林公園内に整備						
(EV・階段)	その他の特徴	●新庁舎1 ●本館は、 策は必要。	●代替公園の設置が必要となる。 ●新庁舎1階の床面積は広く取ることができる。 ●本館は、人の出入りがない場合でも、最低限の安全対 受は必要。 ●本館敷地の活用方法については、工夫を要する。					

- (※1) 最初の整備に要する費用。設計、監理、工事(建設、改修、解体)、情報ネットワーク整備、移転、備品等の想定される経費を含む。
- (※2) 設備改修等、定期的に必要となる改修費用。(20年間)
- (※3) 光熱水費、修繕等の維持管理に要する費用。(20年間)

木館を維持する際に必要となる敕儒費田(主かもの)

本語と他分りも時に必要となる。					
免震改修 19.3億円		19.3億円	建物と基礎との間に免震装置を設置し、地盤と切り離すことで建物に地震の揺れを直接伝えない工法で災害発生後の業務継続性が高い。		
耐震改修	耐震化工事	3.2億円	地震時における倒壊の危険性を解消するため、どのような用途で使用する場合も、最低限の耐震補強は必要。		
	復旧工事(内装、躯体)	5.5億円	モニュメントの場合は、2.8億円程度。		
	設備等改修	5.5億円	公共施設として使用する場合は、7.2億円程度。		
/ ¹ / ₁	リアフリー化工事費用	1.1億円	エレベーター、多目的トイレの設置、外部アプローチの整備等。		